

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年2月10日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 政治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,973	48.1	2,003	128.0	2,018	119.0	1,262	109.9
26年3月期第3四半期	8,760	△23.6	878	△50.7	921	△49.2	601	△40.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,263百万円(97.3%) 26年3月期第3四半期 640百万円(△37.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	56.11	—
26年3月期第3四半期	26.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	31,032	15,165	48.9
26年3月期	26,669	14,059	52.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 15,165百万円 26年3月期 14,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	7.0	7.0
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.0	8.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,720	1.5	1,770	5.9	1,760	2.8	980	2.5	43.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結累計期間において、株式会社アルプスの杜の株式の取得に伴い、同社を連結の範囲に含めております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	22,500,000株	26年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	4,321株	26年3月期	4,221株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	22,495,770株	26年3月期3Q	22,495,837株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月30日)におけるわが国経済は、消費増税駆け込み需要の反動減に見舞われたものの、政府・日銀が諸政策を推進する中で増税延期や円安・株高も奏功し、景気は一部でもたつきながらも総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方、円安による原材料価格が生活関連財の物価上昇に繋がる消費マインドの弱さや新興国の成長率鈍化など先行きに不透明感がぬぐえない状況が続いております。

当社グループのコア事業の主要マーケットとなる遊技場業界は、実質個人所得の伸び悩み、遊技参加人口の減少傾向の影響もあって遊技場を取り巻く経営環境は依然として厳しいものでありました。

このような事業環境の中、当社グループは、開発・製造・販売・アフターサービスの一貫体制をもって付加価値向上に努めると共に、機器事業における周辺設備機器においては、メンテナンスフリーを実現した『樹脂研磨式メダル自動補給システム/クリスタルM』とセキュリティ管理と複数単価の営業をスマートに実現する『多機能ICカード玉・メダル貸機/WICA』を戦略商品と位置づけ、これの拡販に注力いたしました。

また、遊技機は、回胴式遊技機『パチスロひぐらしのなく頃に 煌』を第3四半期にリリースいたしました。これらにより機器事業全体の収益は前年同期を上回ることとなりました。

不動産事業におきましては、第1四半期に賃貸開始した商業ビル(神奈川県海老名市/取得価額770百万円)が賃貸事業の収益向上に寄与いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高12,973百万円(前年同期比48.1%増)、経常利益2,018百万円(前年同期比119.0%増)、四半期純利益1,262百万円(前年同期比109.9%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高12,543百万円(前年同期比49.6%増)、セグメント利益2,080百万円(前年同期比116.5%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高452百万円(前年同期比13.0%増)、セグメント利益293百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

(福祉介護事業)

福祉介護事業は、当第3四半期連結会計期間末より新規連結のため、売上高及びセグメント利益の発生はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成26年3月31日)に比べ4,363百万円増加し、31,032百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間において、株式会社アルプスの杜の株式を取得し、連結の範囲に含めております。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,381百万円増加し、17,024百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加(273百万円増)、受取手形及び売掛金の増加(2,728百万円増)の一方で、商品及び製品の減少(598百万円減)、原材料の減少(473百万円減)、その他に含まれる未収入金の減少(189百万円減)及び前渡金の減少(392百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,981百万円増加し、14,007百万円となりました。これは主に賃貸用不動産の取得等による建物及び構築物の増加(631百万円増)及び土地の増加(728百万円増)、有形固定資産その他(純額)に含まれるリース資産の増加(500百万円増)及び建設仮勘定の増加(788百万円増)、また、株式会社アルプスの杜の新規連結に伴うのれんの増加(254百万円増)、投資その他の資産に含まれる差入保証金数金の増加(177百万円増)の一方で、投資有価証券の売却による減少(110百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,257百万円増加し、15,867百万円となりました。これは主に短期借入金の増加(1,748百万円増)、1年内返済予定の長期借入金の増加(106百万円増)、流動負債その他に含まれる未払金の増加(618百万円増)及び未払消費税等の増加(195百万円増)、長期借入金の増加(551百万円増)、固定負債その他に含まれる長期リース債務の増加(510百万円増)及び預り保証金数金の増加(107百万円増)の一方で、支払手形及び買掛金の減少(489百万円減)、未払法人税等の減少(130百万円減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,105百万円増加し、15,165百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(1,104百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は48.9%と前連結会計年度末に比べ3.8ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の連結業績につきましては、平成26年5月9日の決算発表時に公表いたしました業績予想に変更はありません。

遊技場ホールの設備投資は第4四半期には例年抑制的に推移しますので、需要動向を見極めて通期連結業績の見通しを精査し、業績予想修正が必要な場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,610,219	5,883,877
受取手形及び売掛金	3,892,151	6,620,888
商品及び製品	1,273,325	675,035
仕掛品	847,839	838,730
原材料	2,019,740	1,545,911
繰延税金資産	150,201	108,947
その他	1,872,108	1,368,336
貸倒引当金	△22,353	△17,002
流動資産合計	15,643,234	17,024,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,840,013	2,471,426
土地	7,039,212	7,767,617
その他(純額)	167,143	1,475,252
有形固定資産合計	9,046,370	11,714,295
無形固定資産		
ソフトウェア	42,500	35,060
その他	13,172	12,985
のれん	—	254,852
無形固定資産合計	55,672	302,897
投資その他の資産		
投資有価証券	1,463,796	1,353,732
繰延税金資産	1,247	1,636
その他	486,880	653,680
貸倒引当金	△28,000	△18,500
投資その他の資産合計	1,923,924	1,990,548
固定資産合計	11,025,967	14,007,742
資産合計	26,669,201	31,032,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,471,848	3,982,546
短期借入金	1,000,000	2,748,746
1年内返済予定の長期借入金	1,255,821	1,362,058
未払法人税等	501,658	370,933
賞与引当金	47,143	15,280
製品保証引当金	13,000	20,000
その他	338,773	1,175,962
流動負債合計	7,628,244	9,675,526
固定負債		
長期借入金	3,784,671	4,335,910
繰延税金負債	35,838	47,968
役員退職慰労引当金	458,260	465,225
退職給付に係る負債	28,616	48,147
資産除去債務	62,351	63,245
その他	611,769	1,231,240
固定負債合計	4,981,506	6,191,738
負債合計	12,609,751	15,867,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	12,330,910	13,435,643
自己株式	△4,002	△4,091
株主資本合計	14,007,507	15,112,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,942	53,049
その他の包括利益累計額合計	51,942	53,049
純資産合計	14,059,449	15,165,201
負債純資産合計	26,669,201	31,032,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	8,760,230	12,973,846
売上原価	6,718,489	9,448,136
売上総利益	2,041,740	3,525,710
販売費及び一般管理費		
販売促進費	108,059	444,189
役員報酬	143,397	143,343
給料手当及び賞与	188,725	209,373
賞与引当金繰入額	7,048	7,258
退職給付費用	18,996	21,565
役員退職慰労引当金繰入額	6,965	6,965
その他	689,742	689,354
販売費及び一般管理費合計	1,162,935	1,522,050
営業利益	878,805	2,003,659
営業外収益		
受取利息	2,546	2,401
受取配当金	23,254	14,941
その他	42,890	28,528
営業外収益合計	68,690	45,871
営業外費用		
支払利息	24,149	27,442
その他	1,461	3,203
営業外費用合計	25,610	30,645
経常利益	921,884	2,018,885
特別利益		
固定資産売却益	28,533	—
投資有価証券売却益	28,403	32,676
特別利益合計	56,936	32,676
税金等調整前四半期純利益	978,821	2,051,561
法人税、住民税及び事業税	317,627	749,343
法人税等調整額	59,910	40,015
法人税等合計	377,537	789,358
少数株主損益調整前四半期純利益	601,283	1,262,203
四半期純利益	601,283	1,262,203

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	601,283	1,262,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,066	1,107
その他の包括利益合計	39,066	1,107
四半期包括利益	640,350	1,263,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	640,350	1,263,311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	8,382,325	377,904	8,760,230	—	8,760,230
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22,050	22,050	△22,050	—
計	8,382,325	399,954	8,782,280	△22,050	8,760,230
セグメント利益	960,957	262,878	1,223,836	△345,030	878,805

(注) 1 セグメント利益の調整額△345,030千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	福祉介護事業(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	12,543,888	429,958	—	12,973,846	—	12,973,846
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22,050	—	22,050	△22,050	—
計	12,543,888	452,008	—	12,995,896	△22,050	12,973,846
セグメント利益	2,080,848	293,999	—	2,374,847	△371,188	2,003,659

(注) 1 「福祉介護事業」セグメントは、当第3四半期連結会計期間末より新規連結のため、売上高及び利益の記載はありません。

2 セグメント利益の調整額△371,188千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社アルプスの杜の株式を取得し、連結の範囲に含めております。

取得原価の配分が完了していないため暫定的な金額ではありますが、当該事象により発生したのれんの金額は「福祉介護事業」において254,852千円であります。

報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当第3四半期連結会計期間末において、株式会社アルプスの杜を連結子会社としたことに伴い、同社が運営する「福祉介護事業」を新たに報告セグメントといたしました。